

拉致問題について考えよう

中学校第3学年 社会科(公民的分野)

(人権課題)

北朝鮮当局によって
拉致された被害者等

指導事例の説明

北朝鮮当局による日本人拉致問題について、日本政府は法律を整備し、実態の解明やその抑止に取り組んでいます。本指導事例は、拉致問題に対する生徒の認識を深めるために、問題の現状を正しく理解し、どのような人権が侵害されているのかについて考察する内容となっています。また、拉致被害者家族が苦悩の中においても、希望を失わずに解決に向けて活動し続けていることや「拉致問題に関する中学生サミット」に触れるなど、様々な立場から拉致問題について考える機会となるよう授業を展開します。なお、アニメ「めぐみ」のフルバージョンを使用する場合は2単位時間扱いで、短縮版を使用する場合は1単位時間扱いで実施することを想定しています。

※本事例は、中学校学習指導要領社会(公民的分野)「C 私たちと政治」における「(1)人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」にあたります。

本時の目標

- ・ 北朝鮮当局による日本人拉致問題によって、どのような人権が侵害されたのかについて考察することをとおして、拉致問題が重大な人権侵害であることを知るとともに、基本的人権について理解する。

人権教育の視点

- ・ 動画の視聴をとおして、自由に生きる権利や家族とともに生活する権利など、人間としての尊厳が奪われるとはどのようなことかについて理解することができる。(知性)
- ・ 拉致問題という人権侵害の事例を基に、日常生活においても人権が脅かされる可能性があることに気付くとともに、世界人権宣言など人権保障に関する文書等から人権侵害を捉える視点を養うことができる。(判断力)

生かしたい生徒

※本事例における「生かしたい生徒」の文末にある【知性】、【技能】は、「人権教育の視点」との一貫性をもたせるという趣旨のもと記載しています。指導案作成の際に記載の必要はありません。

- ・ 生徒 A はさまざまな立場から考察した上で発言することができる。どのような人権が侵害されたのかを追究する場面では、生徒 A の発言をもとに拉致被害者家族の苦悩等について全体で共有することで、人権問題を多角的に認識できる力を身に付けさせたい。【知性】
- ・ 生徒 B は、根拠を示した上で発言することができる。世界人権宣言をもとに考察する場面において、当てはまる条文について理由まで示し、まとめさせることで、論理的に人権侵害について判断できる力を身に付けさせたい。【判断力】

人権教育の目標を踏まえた次の発達段階につなげるポイント

高校生の目標につなげていくために、拉致されたことによって侵害された人権が、世界人権宣言のどの条文にあてはまるのかについて確認することで、拉致問題が国際社会においても重大な人権侵害であることを確認します。また、同年代の生徒が拉致問題について真剣に考えている様子を視聴することをとおして、主体的に人権が尊重される社会を築いていこうとする意欲と態度の育成につなげます。

展開

このような特性のある児童生徒、いませんか？
【学習の見通しがもてないことで、消極的になってしまう】

特別支援教育の視点を踏まえた支援

	学習活動	・指導上の留意点 ◎人権教育上の配慮	資料・準備物
導入	1 拉致問題について確認する。 2 本時の学習課題を確認する。 拉致問題によってどのような人権が侵害されたのか考えよう。	・拉致問題について知っていること、分からないことを全体で共有する。 ・共有した事項をもとに、本時の学習課題を設定する。	・ワークシート
展開	3 アニメ「めぐみ」を視聴し、拉致問題について考える。 (1)人権が侵害されていると感じた場面について共有する。 (2)共有した場面を中心に、拉致問題による人権侵害は、世界人権宣言の条文のどこに当てはまるのかについて考察する。 (3)考察した内容について、全体で共有する。 4 動画を視聴し、「拉致問題に関する中学生サミット」について知る。	・人権が関係しそうな場面をもみしながら視聴させる。 ・学習した基本的人権の内容を必要に応じて確認しながら共有を図る。 ◎ 拉致被害者家族の立場からも考察することで、拉致問題について複数の立場から理解できるようにする。(知性) ・考察したことが正しいかどうかではなく、なぜそのように考えたのかについて考えさせる。 ◎ 世界人権宣言と照らし合わせることで、国際社会においても拉致問題が人権侵害にあたることを確認する。(判断力) ◎ お互いの意見を尊重した話し合いができるようにする。 ◎ 日常生活を奪われた人とその家族の苦悩や、解決に向けて努力をし続ける人たちの思いに共感させる。 ・同年代の生徒が拉致問題について真剣に考えている様子を視聴することをとおして、自分たちにも関係する問題であるという意識を高める。	・資料① アニメ「めぐみ」または「めぐみ」短縮版 ・資料② 世界人権宣言 ・資料③ 「拉致問題に関する中学生サミット」動画
ふりかえり	5 本時の学習を振り返る。 「拉致問題」と「人権」の語句を使用して、本時の学習課題に対する自分の考えをまとめよう。	・本時のふりかえりとして、学習課題について自分の考えをまとめ、全体で共有する。 ◎ 具体的で前向きな意見を取り上げ、それらを整理・価値づけをしたり、国の取組を紹介したりすることで、明るい展望をもてるようにする。	

学習の見通しをもてるようにするため、本時の活動の流れを視覚的に分かりやすく示しましょう。

- (例)
1. 拉致問題について
 2. 課題確認
 3. 動画を見よう①
 4. 話し合い①
 5. 世界人権宣言から考えよう
 6. 話し合い②
 7. 動画を見よう②
 8. ふりかえり

説明は短い言葉で具体的に示すようにしましょう。

「話し合い」は、ペアや少数から始めると、話すことが苦手な生徒も安心して参加できます。

ワークシートは活動の流れに合わせた形式のものを準備しましょう。

みんなの意見を、モニターやタブレット、ホワイトボードなどを使って共有することで、全員が参加しているという状況をつくるようにしましょう。

枠は、共感的理解及び明るい展望について示しています。

補助教材・補助資料等

資料① アニメ「めぐみ」

出典：あしたの暮らしをわかりやすく 政府広報オンライン

([北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」 | 政府広報オンライン](#))

([北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」短縮版 | 政府広報オンライン](#))

資料② 世界人権宣言

出典：法務省ウェブサイト ([世界人権宣言 \(仮訳文\)](#))

資料③ 「拉致問題に関する中学生サミット」動画 【「会いたい」篇】【メイキング・ムービー】

出典：「北朝鮮による日本人拉致問題」 内閣官房拉致問題対策本部事務局

([北朝鮮による日本人拉致問題](#))

年 月 日 () 校時

年 組 番 氏名 _____

学習課題 「拉致問題によってどのような人権が侵害されたのか考えよう」

1. 動画を視聴しながら、人権が関係していると思った場面をメモしよう。

2. 動画内における人権侵害の場面が、世界人権宣言の条文のどこに該当すると思うか書き出そう。

- ※参考になった級友の意見をメモしよう。

3. 本時のふりかえりとして、「拉致問題」と「人権」の語句を使用して、学習課題について自分の考えをまとめよう。